

 皇和電機株式会社

証券コード：6748

## 第62期 中間報告書

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで



皇和電機株式会社

<http://www.seiwa.co.jp/>

京都府城陽市寺田新池36番地

TEL：0774-55-8181

## 経営理念

人材の開発と相互信頼に努め、  
新技術に挑戦して、社会に貢献する。



星和電機は、5つのカンパニーの総力で、  
光と情報の新時代を拓きます。

株主のみなさまへ	1
事業別の概況	2
新製品のご紹介	4
財務の状況(個別)	6
財務の状況(連結)	7
会社概要	8
株主メモ	9

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて当社第62期第2四半期(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)の事業が終了しましたので、その概要をご報告申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、一部に景気底打ちの兆しが見られるものの、企業業績の停滞による設備投資の減少に加え、雇用情勢、個人消費も引き続き低調に推移するなど依然として厳しい状況が続きました。

このようななか、当社におきましては、従来にも増してコスト低減活動、製品品質向上活動に注力するとともに新製品・新技術開発に努め、事業推進力の一層の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期(累計)の売上高は72億53百万円(前年同期比13.5%減)、経常損失は4億49百万円(前年同期は4億56百万円の損失)、四半期純損失は1億99百万円(前年同期は6億30百万円の損失)となりました。

中間配当については、従来どおり見送りとさせていただきますのでご了承のほどお願い申し上げます。

今後の見通しにつきましては、道路情報機器が高速道路向けを中心に受注・売上とも堅調に推移しておりますが、民需市場においては厳しい市場環境が続いております。このような状況のなか、全ての事業において生産性の効率化や業務の合理化による経費の削減、徹底したコストダウン活動による原価の低減を図り、利益の確保に努めてまいります。

また、全事業分野にわたり社会の発展に寄与する独創的

な商品の提供はもとより、省エネルギーを実現する商品の開発を促進し、環境保全に向けた取り組みを進めるとともに、品質・安全性の確保を図り、顧客満足の一層の向上に努めてまいります。

とりわけLED照明市場は、国の省エネルギー対策を背景とした急速なニーズの高まりをうけて、新しいシーズが市場に続々と登場しております。このような状況のもと、当社におきましてもLED産業用照明、LED道路照明・トンネル照明、住宅用照明・店舗用照明を本格的に市場投入していくことを経営の最重要課題と位置づけ、4月に企画開発部門を設置しました。開発スピードを加速し、LED照明事業の推進に取り組んでまいります。

さらに、全社を挙げて内部統制の確立、コーポレートガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

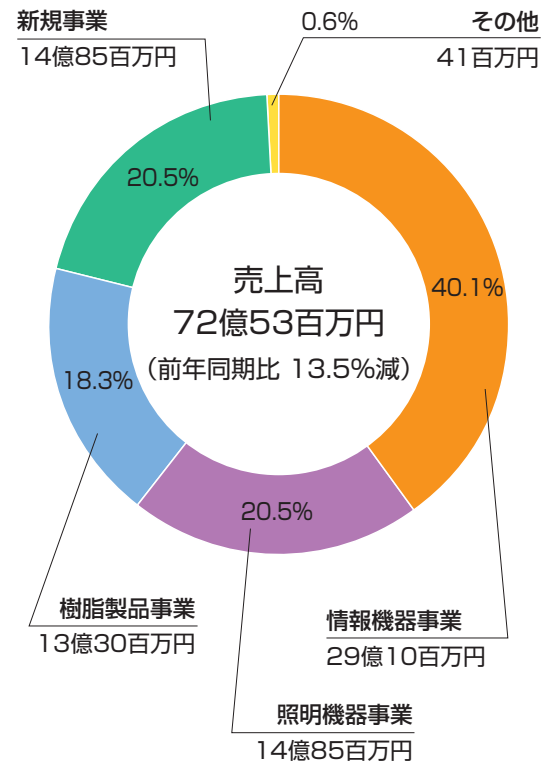


平成21年12月

取締役社長

増山晃章

## 事業別の概況



**情報機器事業 40.1%**  
29億10百万円 (前年同期比 27.1%増)

主要製品：道路情報表示システム  
トンネル防災システム LED式信号機



この部門の主力製品であります道路情報機器の売上が前年同期に比べ増加しました。受注高は、高速道路会社向けの大型案件を中心に受注が進んだことから高水準で推移しました。

**照明機器事業 20.5%**  
14億85百万円 (前年同期比 31.5%減)

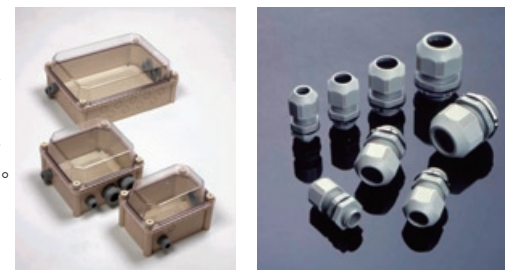
主要製品：産業用照明器具 制御機器  
道路・トンネル用照明器具 交通安全機材



民間設備投資関連の産業用照明器具、公共投資関連の道路・トンネル照明器具ともに減少しました。

**樹脂製品事業 18.3%**  
13億30百万円 (前年同期比 26.9%減)

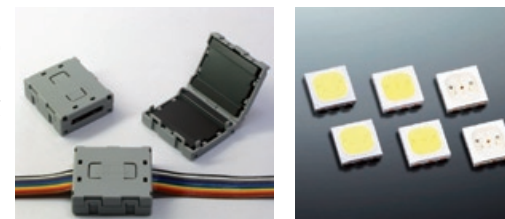
主要製品：配線保護機材 配管保護機材



配電盤や機械装置に用いる産業用配線保護機材が減少しました。また個人消費の影響を受けてエアコン用配管保護機材も減少しました。

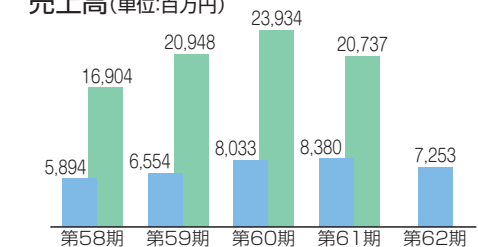
**新規事業 20.5%**  
14億85百万円 (前年同期比 27.0%減)

主要製品：電磁ノイズ対策製品  
オプトデバイス製品 (青色・白色LED)  
LEDチップ選別装置

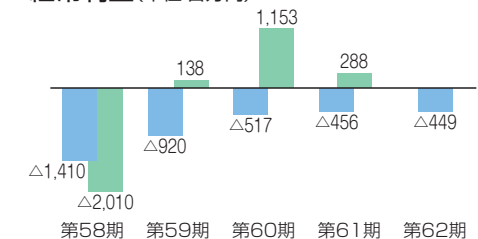


デジタル家電や車載関連の不振の影響を受け、電磁ノイズ対策製品、オプトデバイス製品ともに減少しました。

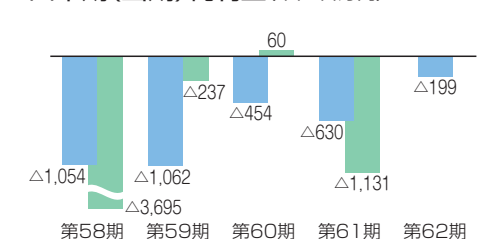
**財務ハイライト**  
売上高(単位:百万円)



経常利益(単位:百万円)



四半期(当期)純利益(単位:百万円)





### 簡易画像センサ

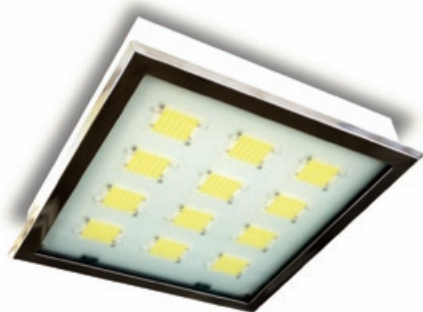
光電センサの簡便性と画像処理装置の正確性を併せ持ち、製造・生産ラインの自動化用途に対応する多機能センサです。照明・レンズ内蔵のカメラ、液晶モニタ・操作スイッチ装備の本体で、すぐに画像計測をはじめることができます。使いやすさを追求したシンプル設計で、液晶モニタに表示される設定項目をスイッチ操作で選ぶだけなので、はじめての方でも簡単にお使いいただけます。

2次元の広範囲を計測するため、光電センサにくらべ、より安定したセンシングが可能です。しかも、形状・数・幅など画像処理特有の計測方法が選択可能。用途に応じた計測方法で、より確実な検知を実現します。ランダムトリガ対応のカラーCCDと独自の画像処理回路技術により、カラー処理による確実性と超高速応答性で、さまざまな製造ラインによりフレキシブルに対応可能です。

### クリーンルーム用LED灯器具

医薬品工場をはじめ、食品工場、半導体やフィルム工場などのクリーンルームに設置する照明は、クリーンルーム内のクリーン度を保つために気密性や空気の乱流を発生させないように天井面の平坦性が求められます。現在は、主として蛍光灯を光源とするものが採用されていますが、ランプ交換時には、クリーンルーム内のクリーン度を保つために生産設備の稼働を停止し、塵埃が侵入しないように養生する必要がありました。

光源寿命4万時間のLEDを採用することにより、わずらわしいランプ交換作業の手間を削減しメンテナンスフリー、生産ロスの削減を実現します。また、耐薬品性が求められるバイオクリーンルームに適合すべく、前面枠はステンレス製を採用しました。



### UDプロテクタ木目調タイプに3色追加

従来のブラウンに加え、ナチュラル、ライト、ダークの3色を新しく取り揃えました。

設置場所に応じた木目調の使い分けができ、フローリングの雰囲気にもマッチします。

### LEDチップカウンターシステム

ウエハーをセットし、取り込まれた画像とあらかじめ登録されたチップ画像とをパターンマッチング（相関関数）により比較認識し、チップ数を計測するシステムです。また、オプションのバーコードリーダーを使用することで、異なった品種でも自動的に設定ファイルを読み出し、計測することが可能です。

カメラタイプ



スキャナータイプ



## 財務の状況（個別）

	前第2四半期末 平成20年 9月30日現在	当第2四半期末 平成21年 9月30日現在	前期末 平成21年 3月31日現在
<b>[資産の部]</b>			
流動資産	11,744	12,930	14,188
固定資産	6,007	5,765	5,153
有形固定資産	2,952	2,271	2,251
無形固定資産	64	114	70
投資その他の資産	2,990	3,379	2,830
資産合計	17,751	18,695	19,342
<b>[負債の部]</b>			
流動負債	7,070	8,202	9,849
固定負債	2,540	3,080	1,913
負債合計	9,611	11,283	11,763
<b>[純資産の部]</b>			
株主資本	7,776	6,966	7,275
資本金	3,380	3,380	3,380
資本剰余金	3,613	3,613	3,613
利益剰余金	976	167	475
自己株式	△193	△193	△193
評価・換算差額等	364	445	303
純資産合計	8,140	7,412	7,578
負債・純資産合計	17,751	18,695	19,342

	前第2四半期(累計) 平成20年 4月1日から 平成20年 9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成21年 4月1日から 平成21年 9月30日まで	前期 平成20年 4月1日から 平成21年 3月31日まで
売上高	8,380	7,253	20,737
売上原価	7,169	5,918	17,051
売上総利益	1,211	1,335	3,685
販売費及び一般管理費	1,654	1,727	3,353
営業利益又は営業損失(△)	△443	△391	332
営業外収益	70	48	106
営業外費用	83	105	150
経常利益又は経常損失(△)	△456	△449	288
特別利益	—	41	87
特別損失	238	43	1,255
税引前四半期(当期)純損失(△)	△695	△451	△880
法人税、住民税及び事業税	6	10	16
法人税等調整額	△71	△262	234
四半期(当期)純損失(△)	△630	△199	△1,131

## 財務の状況（連結）

	前第2四半期末 平成20年 9月30日現在	当第2四半期末 平成21年 9月30日現在	前期末 平成21年 3月31日現在
<b>[資産の部]</b>			
流動資産	12,090	13,318	14,557
固定資産	6,038	5,721	5,151
有形固定資産	3,203	2,488	2,479
無形固定資産	74	123	82
投資その他の資産	2,760	3,109	2,589
資産合計	18,129	19,040	19,708
<b>[負債の部]</b>			
流動負債	7,074	8,208	9,887
固定負債	2,548	3,080	1,916
負債合計	9,623	11,288	11,803
<b>[純資産の部]</b>			
株主資本	8,022	7,208	7,510
資本金	3,380	3,380	3,380
資本剰余金	3,613	3,613	3,613
利益剰余金	1,221	409	710
自己株式	△193	△193	△193
評価・換算差額等	367	430	280
少数株主持分	116	111	114
純資産合計	8,506	7,751	7,905
負債・純資産合計	18,129	19,040	19,708

	前第2四半期(累計) 平成20年 4月1日から 平成20年 9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成21年 4月1日から 平成21年 9月30日まで	前期 平成20年 4月1日から 平成21年 3月31日まで
売上高	8,487	7,374	20,993
売上原価	7,267	6,020	17,311
売上総利益	1,219	1,354	3,682
販売費及び一般管理費	1,711	1,736	3,401
営業利益又は営業損失(△)	△492	△382	281
営業外収益	66	46	98
営業外費用	84	110	153
経常利益又は経常損失(△)	△509	△446	226
特別利益	0	41	87
特別損失	242	43	1,271
税金等調整前四半期(当期)純損失(△)	△751	△447	△957
法人税、住民税及び事業税	8	14	27
法人税等還付税額	—	—	△13
法人税等調整額	△87	△267	213
少数株主損失(△)	△5	△2	△7
四半期(当期)純損失(△)	△667	△192	△1,177

	前第2四半期(累計) 平成20年 4月1日から 平成20年 9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成21年 4月1日から 平成21年 9月30日まで	前期 平成20年 4月1日から 平成21年 3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,819	1,906	△225
投資活動によるキャッシュ・フロー	△360	△621	△1,004
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,788	310	346
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△2	△4
現金及び現金同等物の増減額	△326	1,593	△888
現金及び現金同等物の期首残高	2,401	1,513	2,401
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	2,075	3,106	1,513



## 会社概要

### 会社の概況（平成21年9月30日現在）

商号 星和電機株式会社  
英文名 SEIWA ELECTRIC MFG. CO., LTD.  
創業 昭和20年10月1日  
資本金 33億8千万円

### 事業所

本社・工場 京都府城陽市寺田新池36番地  
北海道支社 札幌市中央区南1条西5丁目8番地  
東京支社 東京都千代田区神田美土代町3番地3  
中部支社 名古屋市東区泉一丁目21番15号  
関西支社 大阪市西区靱本町一丁目4番12号  
営業所 東北（宮城県）・新潟・京都・高松・  
広島・福岡  
物流センター 関東物流センター（茨城県）

### 役員（平成21年9月30日現在）

取締役社長(代表取締役) 増山晃章  
専務取締役(代表取締役) 愛知後秀作  
専務取締役 山口豊隆  
常務取締役 酒井邦夫  
取締役 正林啓志  
取締役 佐野廣一  
取締役 中島賛太郎  
取締役 井上通昭  
監査役(常勤) 岡正  
監査役 森本忠義  
監査役 中野淑夫  
監査役 益満清輝

※監査役のうち中野淑夫および益満清輝は社外監査役であります。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 6月  
基準日 定時株主総会 3月31日（その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。）  
期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日  
単元株式数 1,000株  
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
お問い合わせ先 〒168-8507  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
フリーダイヤル 0120-288-324  
公告方法 当社のホームページ（<http://www.seiwa.co.jp/>）に掲載します。  
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。